

あとがき

医者をしていての一番の報酬は、F. Peabodyによれば患者との個人的な絆（personal bond）であるという。決して金銭ではない。最近地域医療を担う若手が少なくなっているのは、あるいは医学教育のせいかもしれない。私はいまでも月に一度は京都の下町の病院で診療しているが、10年以上も前からみている患者さんがたくさんいる。この人々はなじみの患者であり、私が苦しいときも一生懸命に助けてくれた人々である。これらの人々との個人的な絆は私にとっての宝である。地域の診療所のよいところは、このような絆を大切にしたい医療ができる点にあるのではないだろうか。医師をしていてよかったなと感じるのは、たまに（決していつもではない）人の役に立てることと同時に、いろいろな人生を垣間見ることができる点である。職業柄いろいろな人の最期をみとることが多い。とても悲惨な最期もあれば、枯葉の最後の一葉が落ちていくときに黄金色に一瞬輝くような最期もあった。人の死は最も個人的な出来事であり、孤独である。夜間の単独航海に似ている。

今月は、分子標的治療として有望な分野でご活躍中の先生方に、最新の神経疾患の治療法開発に向けた展望をまとめていただいた。最近の脳科学の進歩は目覚ましいものがあるが、その成果を治療法への展望へ結びつける「橋渡し研究」への道筋を示している。例えば最強の毒素といわれているボツリヌス毒素が、いまや難治性てんかんの治療薬になろうとしている。21世紀には神経疾患に苦しむ患者さんの人生を垣間見る医療から、積極的に人生を変える医療になることであろう。しかし、医師の生きがいは変わることはない。

（梶 龍児）

編集顧問

生 田 房 弘
臺 弘
大 友 英 一
金 澤 一 郎
酒 田 英 夫
佐 野 圭 司
島 津 浩
杉 田 秀 夫
高 倉 公 朋
塚 田 裕 三
中 里 洋 一
彦 坂 興 秀
平 山 惠 造
藤 澤 浩四郎
真 柳 佳 昭
萬 年 甫
水 野 美 邦
柳 澤 信 夫

編集委員

岩 田 誠
（編集主幹）
石 塚 典 生
糸 山 泰 人
内 山 真一郎
梶 龍 児
河 村 満
高 坂 新 一
作 田 学
辻 省 次
寺 本 明
中 込 忠 好
中 野 今 治
水 澤 英 洋
（五十音順）

BRAIN and NERVE

（第61巻 第8号）

2009年8月1日（毎月1回1日発行）

定価 2,730 円〔本体 2,600 円＋税 5 %（配送料実費）〕
〔2009 年、年ぎめ予約購読料 35,460 円・電子ジャーナル閲覧オプション付 46,100 円（配送料弊社負担）〕

E-mail:bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

（山内・小藤・山崎）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込所 (株)丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)医学書院が保有します。
- 〔JCOPY〕(株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。